

(社)日本原子力学会 水化学部会 第9回全体会議

開催日時:平成24年3月19日(月) 12:00～12:30

開催場所:福井大学文京キャンパス H会場 (工学部1号館1号棟121M講義室)

— 議 事 次 第 —

- (1) 部会長挨拶
- (2) 内規変更の審議
- (3) 運営小委員会委員代行者の報告
- (4) 各小委員会・WG等活動報告
 - 運営小委員会
 - 企画担当
 - 広報・編集担当
 - 燃料・水相互作用ワーキンググループ
 - 構造材・水相互作用ワーキンググループ
 - 定例研究会小委員会
 - 水化学部会会計報告(平成23年度)
- (5) 原子力発電プラントの水化学に関する国際会議2014札幌
- (6) 第2回軽水炉燃料・材料・水化学夏期セミナー の開催

水化学部会運営小委員会内規変更(1/3)

水化学部会運営小委員会内規申し合わせ

平成20年 9月4日 第3回部会総会承認

平成20年10月1日 施行

平成22年3月26日 第6回部会総会承認

平成22年9月17日 第7回部会総会承認

平成24年3月19日 第9回部会全体会議承認予定

(目的)

第1条 本内規申し合わせは日本原子力学会水化学部会(以下「部会」)内に設置する運営小委員会(以下「委員会」)の構成、ならびに、委員会運営委員(以下「運営委員」)および監事の選任方法について定める。

(構成)

第2条 運営小委員会は部会長1名、副部会長4名以内、および担当委員20名以内の運営委員で構成する。

2 運営小委員会は、以下の各号に掲げる担当委員を設ける。各委員の担当は運営委員間の互選により決定する。なお、運営委員は複数の担当委員を兼任することができる。

- (1) 庶務委員
 - (2) 企画担当委員
 - (3) 広報・編集担当委員
 - (4) 財務担当委員
 - (5) 化学管理ワーキンググループ担当委員 将来構想検討ワーキンググループ
 - (6) 定例研究会小委員会担当委員
 - (7) ロードマップフォローアップワーキンググループ担当委員
 - (8) 燃料・水相互作用ワーキンググループ担当委員
 - (9) 構造材・水相互作用ワーキンググループ担当委員
 - (10) 被ばく・廃棄物低減ワーキンググループ担当委員
- 3 運営委員とは別に部会員から監事2名以内を設ける。
- 4 運営小委員会の運営を支援するため、部会長が推薦する者を顧問とする。
また、特に顕著な貢献のあったものを特別顧問とする。

(監事)

第3条 監事は運営小委員会に出席し、部会活動、ワーキンググループおよび小委員会活動が適切に執行されていることの監理を行う。

2 監事は運営小委員会が合理的かつ効率的に運営されるよう、部会長に意見を述べることができる。

水化学部会運営小委員会内規変更(2/3)

(任期)

第4条 運営委員および監事の任期は「水化学部会規約」に定めるとおりとする。

2 やむを得ぬ理由により任期途中で退任する場合には、代行者を立てることができる。代行者は運営小委員会で選任し、部会員または部会全体会議に報告する。

(選挙)

第5条 運営委員および監事の選任を行うため、部会員による選挙を行う。

(選挙管理小委員会)

第6条 選挙を公正に執行管理するため、部会に選挙管理小委員会を置く。

2 運営小委員会は、適切な時期に選挙管理小委員会を発足させねばならない。

3 選挙管理小委員会は、次の各号に掲げる委員によって構成し、運営委員および監事の選挙に必要な業務を行う。

(1) 選挙管理小委員長 1名

(2) 選挙管理委員 2名

4 選挙管理小委員長は部会員より選任し、選挙管理委員は選挙管理小委員会委員長が部会員から選任する。

(候補者の推薦)

第7条 運営委員および監事の候補者は、部会員であって他に部会員2名以上が推薦するものとする。ただし、候補者数が定員に満たない場合は運営小委員会が推薦する者も候補者とする。

2 運営委員および監事の候補者推薦は、部会長候補者、副部会長候補者、担当委員候補者および監事候補者に分けて行う。

3 候補者の受付期間は2週間とする。

4 選挙管理小委員会委員長および選挙管理委員は、運営委員および監事の候補者になることができない。

(選挙方法)

第8条 選挙は、部会長候補者、副部会長候補者、担当委員候補者および監事候補者に対してそれぞれ信任投票方式で、郵送、電子メール等による投票方法で行う。なお、投票は記入方式にて行う。

2 投票期間は2週間とする。

3 部会員は候補者に対して、信任票、不信任票、棄権票のいずれかを投ずる。

4 有効投票数の過半数以上の信任を獲得した候補者で、獲得信任票が多い候補者を順に当選者とする。

5 獲得信任票が同数であった場合は、不信任票が少ない候補者を順に当選者とし、信任票および不信任票がともに同数であった場合は棄権票が少ない候補者を順に当選者とする。

水化学部会運営小委員会内規変更(3/3)

(選挙方法)

- 第8条 選挙は、部会長候補者、副部会長候補者、担当委員候補者および監事候補者に対してそれぞれ信任投票方式で、郵送、電子メール等による投票方法で行う。なお、投票は記入方式にて行う。
- 2 投票期間は2週間とする。
- 3 部会員は候補者に対して、信任票、不信任票、棄権票のいずれかを投ずる。
- 4 有効投票数の過半数以上の信任を獲得した候補者で、獲得信任票が多い候補者を順に当選者とする。
- 5 獲得信任票が同数であった場合は、不信任票が少ない候補者を順に当選者とし、信任票および不信任票がともに同数であった場合は棄権票が少ない候補者を順に当選者とする。

(選挙結果の報告)

- 第9条 選挙管理小委員会委員長は、運営委員および監事の候補者の選挙後、その結果をすみやかに部会員ならびに部会全体会議に報告しなければならない。

(担当運営委員)

- 第10条 この要領に関し、選挙管理小委員会の発足その他について、主に庶務委員が発議の任に当たる。

(例外処理)

- 第11条 本この申し合わせ及および関連する規定等に定めのない事態が生じたときは、運営小委員会あるいは選挙管理小委員会は、関連する規定等の趣旨を尊重して運営小委員会にて審議し運営委員の3分の2以上の賛成をもって適切な措置を取ることができる。
- ただし、部会全体会議に報告し、その出席者3分の2以上の了承を得なければならない。

(改定)

- 第12条 本申し合わせの改定は、運営小委員会の発議に基づき、部会全体会議で審議へ経るものとする。

附則

- 1 ~~この内規の改廃は委員会及び部会全体会議の審議を経るものとする。~~
- 2 この申し合わせは、平成24年3月20日から施行する。
- 2 改定履歴
平成22年10月1日 「水化学部会運営小委員会内規」として制定
申し合わせに変更

運営小委員会委員代行者の報告

鈴木晃財務担当委員（東電）の退任に伴い、
水化学部会運営小委員会内規第4条2に基づ
き、第17回運営小委員会（平成24年3月7日開
催）において牧平淳智氏（東電）を代行者と
して選任

運営小委員会 活動報告・予定(1/2)

・第16回運営小委員会

開催日時:平成23年10月18日 10:00～12:30

開催場所:東桜会館 講師控室(名古屋)

議題:2012年度三部会合同夏期セミナーの開催について
2012年度春の大会の企画セッションについて
第16回定例研究会について
各部会・連絡会設置目的等の見直し検討について
水化学国際会議2014の国内開催について

他3件

・第17回運営小委員会

開催日時:平成24年3月7日 10:00～12:30

開催場所:東芝研修センター(新横浜)

議題:水化学国際会議2014札幌の検討状況について
2012年度三部会合同夏期セミナーの開催概要等について
2012年度秋の大会の企画セッションについて
次年度以降の定例研究会のテーマについて
学会標準委員会等への対応状況について

他3件

運営小委員会 活動報告・予定(2/2)

・第18回運営小委員会開催予定

開催日時:平成24年6月1日予定

開催場所:日本原子力発電(株)本店

議題:未定

企画担当 活動報告

1.. 水化学国際会議の国内開催 ((2014年))

- | 2014年10月26日(日)～31日(金)に北海道札幌市ロイトン札幌(ホテル)で開催を予定し、2012年9月の案内(1st Announcement)に向けて準備を進めている。

2.. アジア水化学シンポジウム

- | 2011年は東北地方太平洋沖地震等の影響により中止した。
- | 次回、2013年は台湾で開催を予定している。

3.. 部会企画セッション

- | 「福島第一原子力発電所 海水注入の影響と今後の対応」(2012年春)
- | 「S G 長期信頼性」(2012年秋)、「環境影響」(2013年春)を計画中。

4.. サマーセミナー／見学会

- | 2012年7月11日(水)～13日(金)に核燃料部会・材料部会および水化学部会の3部会合同夏期セミナーを島根県松江市(ホテル一畑)での開催を計画している。

企画担当 活動計画案

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
水化学国際会議 ラジオリスWS	日本開催検討 ▽	ドイツ(9/15-18) ▽		カタール(10/3-7) ▽		フランス(9/24-28) ▽	実行委員会 ▽	札幌(10/26-31) ▽
アジア水化学 シンポジウム	台湾(9/27) ▽		名古屋(10/28-29) ▽		水戸 (中止)		台湾 (予定) ▽	
原子力学会 企画セッション 部会総会	北九州 水化学RM ▽ 大阪大学 ▽ 高経年、 学協会の役割	高知工科大学 ZWIS ▽ 東京工業大学 ▽ 被ばく・ 廃棄物低減	東北大学 配管減肉 ▽ 茨城大学 ▽ 水化学RM	北海道大学 ▽ 福井大学 (中止)	北九州 JMTR ▽ 福島大学 ▽ 福島第一関連	広島大学 SG長期信頼性 ▽ 近畿大学 ▽ 環境影響	八戸工業大学 SWIS ▽ 水処理技術	配管減肉 ▽
サマー・セミナー 夏期見学会		MHI + 原電 ▽ 第5回福井 (7/15-17)	核燃料部会・材料部会・水化学部会 合同夏期セミナー@玉造温泉(7/1-4) JRIA ▽ 見学会 / 滝沢 (7/15-17)	東芝 + 東北 ▽ 第6回松島 (7/7-9)	日立GENE + 中国 ▽ 核燃料部会・材料部会・水化学部会 合同夏期セミナー@松江(7/11-13)			
定例研究会	原電、 東京 ▽ 高経 年他 MHI ▽ 基盤 技術 東芝 ▽ 被ばく 低減	電中研 ▽ 標準 JAEA ▽ FAC 原電 ▽ CBM	三菱 マテリアル ▽ ZUIS 関西 ▽ スクール 付着 抑制 日立 GENE ▽ 環境 影響	東京 ▽ 人材 育成 北陸 ▽ 漏えい 燃料 管理 電中研 ▽ SWIS	電発 ▽ 計測 技術 中部 ▽ 水処理 技術 東芝 ▽ 1F 関連	原電 ▽ 標準 北海道 ▽ 被ばく 低減 JAEA ▽ プラント 設計	MHI ▽ スクール 付着 抑制 九州 ▽ 人材 育成 東京 ▽ 計測 技術	電中研 ▽ 漏えい 燃料 管理 四国 ▽ 次世代 軽水炉 電発 ▽ SCC環境 緩和

広報編集担当 活動報告

1. 水化学部会 ホームページのメンテナンス

定例研究会実施内容の掲載、及びその他トピックス紹介(随時)

2. 水化学部会報 第五号の発刊(11月発行)

内容

- 1) 巻頭言：福島原子力事故復興に対する水化学からの貢献について 勝村部会長
- 2) 福島第1原子力発電所事故の収束に向けて - 水化学の立場から
石樽先生(日本アイソトープ協会)
- 3) フェライト皮膜形成による原子炉再循環系配管への放射性コバルト付着抑制技術
細川氏(日立GENE)
- 4) 水の話しシリーズ (“水” あれこれ) 長尾委員
- 5) 水化学国際会議(2010 ケベック)報告 藤原委員(電中研)、荘田委員(MHI)
- 6) その他(水化学国際会議検討WGでの検討状況、分析法の学会標準化について、水化学部会定例研究会開催概要)
- 7) 編集後記

3. 御願い

・ホームページ掲載内容や部会報へのご意見をどしどし担当委員にお寄せいただくよう御願いします

燃料水相互作用WG 活動報告((1/2))

ワーキンググループのミッション:

燃料と水化学の相互作用に係わる研究・技術開発動向を把握するため、研究会等を企画・実施する。

活動概要:

- ・「水化学RM2009」の「燃料の高信頼化」の課題のひとつに、**情報交換体制の整備(燃料分野との連携など)**が挙げられている。
このため、**核燃料部会と協力し、2009年度から「核燃料部会-水化学部会合同勉強会」**を立ち上げ、勉強会を中心に活動。
- ・主査は河村(電中研)、副主査は石田氏(日立GE)。

燃料水相互作用WG 活動報告 ((2/2))

合同勉強会:

- (1)目的:燃料/水化学境界領域に係わる情報・知見を共有し、課題解決とその効率的推進方法を議論。(燃料開発動向、水化学動向、燃料と水化学の係わり等)多面的・集中的な議論をベースに伝承 & 課題の共有化と解決策を模索。
- (2)開催実績: H21年12月以降5回開催
(毎回23～30名、若手～シニア、産官学問わず参加)
次回はH24年5月中旬～下旬を予定、
テーマは1Fに関連した燃料/水化学/(材料)のトピックス、詳細は調整中
- (3) 第5回(H23年11月24日)の議題:
 - ・『ラジオリシス研究-マリキュリーから福島まで-(勝村部会長)』
 - ・『燃料集合体周辺のラジオリシス(和田氏)』
 - ・『ステンレス鋼の塩化物腐食(中山氏)』
- (4)進め方:
 - ・何が分かっている、今後、何を検討すべきか?
(例:腐食挙動のPBの差異や析出物の影響。腐食機構解明をどこまで追及?)
 - ・課題と解決法等について議論
 - ・相手分野への期待 → 協力体制の検討



 - ・勉強会の成果は、日本原子力学会大会の企画セッション等で紹介。
 - ・勉強会で議論された内容は、必要に応じお互いのRMに反映。

構造材・水相互作用WG 活動報告(1/2)

1. 活動の目的

- Ø 材料と水環境の相互作用に関する理解の現状に関する整理。
- Ø 今後必要な研究および技術開発の方向に関する検討。
- Ø 関連分野の最新技術・研究動向に関する情報の交換・共有。

2. 活動の経緯

- 従来の水化学部会内の活動から拡大するため、他部会、他学協会との協力を重視し、連携して活動することを検討した。
- Ø H21度から当学会材料部会へ合同勉強会の立ち上げの協力依頼を行い、同部会運営小委員会及び総会(H22年3月)で了解を得た。
 - Ø 材料部会側へ「水化学」の概要・現状を紹介するため、「材料」夏季セミナー(H22年8月20日、茨城県大子町)で両部会の協力方法について議論した。
 - Ø 第1回両部会合同勉強会をH23年1月27日に開催した。

構造材・水相互作用WG 活動報告(2/2)

3. 材料部会/水化学部会合同勉強会

(1) 実施目的

「構造材と水の相互作用」に関心を持つ両部会員が最新の研究・技術情報を交換し、関係を深めることにより、軽水炉の経験・知見の将来炉、新型炉等への活用及び軽水炉へ利用可能な新しい技術・知見の検討を行う。」また、「福島事故に関連し材料/水相互作用の観点から材料耐久性や過酷事故に関わる課題の検討を行う。」

(2) 開催実績

・第1回勉強会： H23/1/27開催(於：日本原子力学会会議室)

テーマ「流れ加速型腐食(FAC)による配管減肉現象」

講演4件(佐藤氏、内田氏、杉野氏、関氏)

・第2回勉強会： H23/10/28開催(於：京都大学宇治キャンパス)

講演1： 低炭素ステンレス鋼のSCC感受性に及ぼす溶存酸素・水素の影響

木村氏 (京都大学)

講演2： SiC/SiC複合材料の軽水炉への適用について

檜氏 (京都大学)

講演3： ステンレス鋼と高温水蒸気の反応(文献調査)

塚田氏 (JAEA)

・第3回勉強会： H24/5頃開催予定(内容検討中)

定例研究会小委員会 活動報告・予定

【第14回】 講演概要は、部会ホームページに掲載

開催月日：平成23年10月18日(火)

開催場所：東桜会館(名古屋市)(中部電力㈱主催)

基調テーマ：水処理技術

講演者：電中研 / 堂前氏, 東芝 / 宮崎氏, 荏原 / 萩原氏, オルガノ / 小菅氏,
中電 / 稲垣氏

参加者数：59名

【第15回】 講演概要は、部会ホームページに掲載予定

開催月日：平成24年3月7日(水)

開催場所：東芝研修センター A棟 4階 A413研修室

基調テーマ：福島第一原子力発電所事故後の水処理に関わる対応

講演者：東電 / 實重氏, 東電 / 高守氏, 電中研 / 小山氏, 東芝 / 沖田氏,
日立GE / 玉田氏

参加者数：79名

【第16回 開催予定】

開催月日：平成24年6月1日(金) 予定

開催場所：日本原子力発電(株)

基調テーマ：水化学管理標準に係る取り組みについて

定例研究会への参加
対象は原則として部会
員とするが、部会活動
内容を把握するための
体験参加を認める。

水化学部会 会計報告案(平成23年度)

単位：円

		予算計上額	実 績
平成23年度	繰 越	1,299,435	1,299,435
	収 入	149,000	116,100
	支出(見込み)	129,000	116,100
	次年度繰越	1,299,435	
平成24年度	繰 越	1,299,435	-
	収 入	123,000	-
	支 出	123,000	-
	サ-セミナ-収入	3,140,000	-
	サ-セミナ-支出	3,134,000	-
	次年度繰越	1,305,435	

原子力発電プラントの水化学に関する 国際会議2014札幌

- 開催概要
2014年(平成26年)10月26日(日)～31日(金)
- 開催場所
北海道札幌市 ロイトン札幌(ホテル)
- テーマ構成
技術テーマ + 特別企画セッションを企画検討中
公式行事(オーラルセッション、ポスターセッション、テクニカルツアー、バンケット)を企画検討中
- 2012年(平成24年)9月に1st Announcementの準備中

第2回軽水炉燃料・材料・水化学 夏期セミナーの開催



【開催月日】

平成24年7月11日(水)～7月13日(金)
(7月13日(金)は中国電力(株)島根原子力発電所見学会)

【開催場所】

島根県松江市松江しんじ湖温泉「ホテル一畑」

参加費(宿泊費は個人清算)

三部会部会員/20,000円、学会員25,000円

非学会員/31,500円、学生/無料

見学会 4,000円(学生/無料)

申し込み方法

水化学部会ホームページ等に近日公開

申し込み締め切り

セミナー参加申し込み

平成24年4月30日(月)、先着150名

(見学会 先着40名)

13:00 ~ 14:30
水化学部会セッション

福島第一原子力発電所海水注入の影響と今後の対応

座長: 久宗 健志 (日本原子力発電(株))

(1) 海水注入後における使用済み燃料貯蔵プールの水質と対応

高守 謙郎 氏 (東京電力(株))

(2) 使用済み燃料貯蔵プールからの塩分除去

川寄 透 氏 (日立GEニュークリア・エナジー(株))

(3) 使用済み燃料貯蔵プールからの放射性物質除去

浦田 英浩 氏 ((株)東芝)